



VOLVO CAR JAPAN

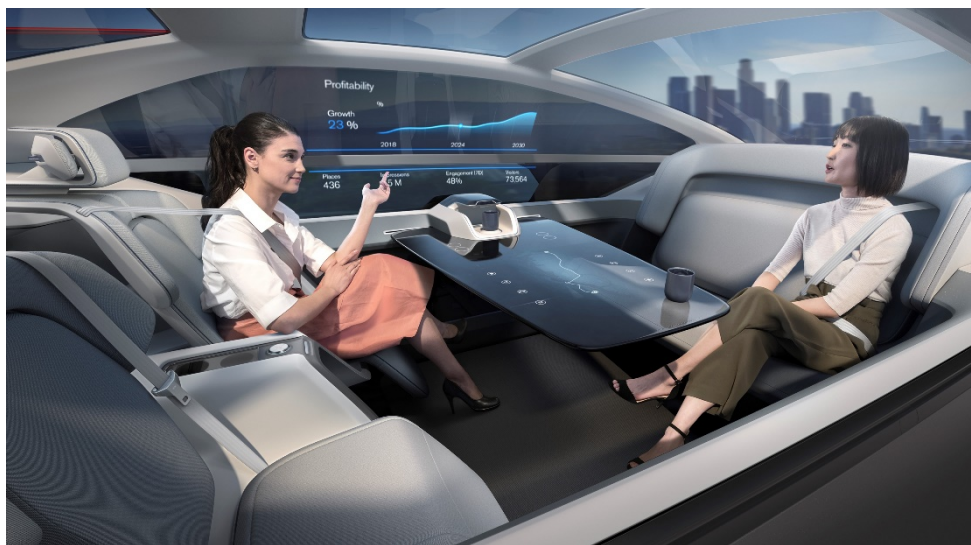
Press Release

2018年9月6日

ボルボ・カーズの新自動運転コンセプト “360c”: 未来の都市生活とワークライフバランスを再定義

本プレスリリースは、9月5日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

もし自動運転が可能で、すべての機能が用意された快適な移動式オフィスで通勤できるとしたら、あなたはどこに住みますか？このようなサービスが瞬時に契約できたらどうしますか？あるいは、ある会社で提供されており、別の会社では提供されていなかったとしたら、あなたはどちらの会社で働きたいですか？



これらは本日発表したボルボの新しいコンセプトカー、ボルボ 360c コンセプトによって問いかけられる数多くの未来像の一部です。このコンセプトは、ボルボ・カーズが新たな成長市場として参入する可能性のある、将来の自動化、電動化、コネクテッド、安全性に関するボルボのビジョンの一環です。

このコンセプトは、非生産的で退屈な移動時間を、有効で楽しい時間に変えることによって、人々の生活基準が変化する可能性を示しています。

報道関係お問い合わせ先
ボルボ・カー・ジャパン 広報部

「360c は、運転手を不要にした場合の設計の自由度と、時間の有効活用によって可能になることを探究しています。これにより自動運転技術が世界をどう変えるのかを知ることができます。その可能性は無限大です。」ボルボ・カーズ企業戦略担当上級副社長のマーテン・レーヴェンスタムは、このように語りました。

完全自動運転の電気自動車で移動すれば、汚染物質を削減し、交通渋滞を減少させることによって、人々の健康や生活を豊かにし、先進的な安全性や環境上の恩恵が得られます。また住宅の選択肢の幅が広がることで不動産価格の高騰を抑制し、より手ごろな価格で住宅を所有できる可能性を広げます。

マーテン・レーヴェンスタムはさらに、「これはほんの一例にすぎませんが、非生産的な移動時間の負担を取り除くと人々は都市部への距離をさほど気にしなくなります。360c は移動するオフィスでもあるので、人々が混雑した都市から遠く離れた場所で生活し、より快適で、より効果的な方法で時間を使うようになるでしょう。」と述べています。

360c は人間が運転しない完全自動運転の電気自動車をベースにしています。これにより、移動手段や友人や家族とのやり取り、移動中の時間をどのように活用するかを考えています。

このコンセプトは、自動運転車を使った「睡眠できる環境」、「動くオフィス」、「リビングルーム」、「エンターテインメントスペース」という 4 つの使い方を提示しています。飛行機、バス、列車といった他の移動手段に対抗する魅力と可能性を持っており、快適性、利便性、プライバシーという面で優位性があります。

ボルボはこの 360c で、今までの自動車メーカーの有り様を超えたビジネスモデルの拡大の機会を模索しています。ボルボは、様々な業界から強い関心が集まることを期待しています。

360c は、航空会社、航空機メーカーやその他のサービスプロバイダーからなる数十億ドル規模の航空業界に対し、有利な競合相手となる可能性があります。360c の「睡眠できる環境」は、空港でのセキュリティチェック、待ち行列、騒がしさ、旅客機の窮屈さといった不便がなく、ドアツードアでファーストクラス並みのプライベート空間による移動を実現できます。

「私たちは 360c をコミュニケーションの始まりとみなしており、より多くのアイデアや答えを得てより多くのことを学ぼうと思っています。完全自動運転は、あらゆる面で社会を変える可能性があると考えており、人々の移動手段、都市計画、インフラの活用方法にも大きな影響をもたらすでしょう。しかし、私たちはステークホルダーの一部にしか過ぎないため、この革新的技術をいかに活用するかを学び、幅広い議論が起こることを期待しています。」マーテン・レーヴェンスタムはこのようにコメントしています。